

# 2024年3月期 決算説明資料



松田産業株式会社  
2024年5月23日



1. 連結決算の概要
2. 中期経営計画（2022-2025年度）の進捗状況
3. セグメント別の業績と次期見通し

## Appendix

# 1. 連結決算の概要



連結売上高は過去最高

**増収減益**

**3,605** 億円 / **93** 億円

(前期比 +2.7% / ▲32.3%)

貴金属関連事業

売上高・営業利益

**2,529** 億円 / **70** 億円

(前期比 +2.6% / ▲41.5%)

食品関連事業

売上高・営業利益

**1,077** 億円 / **23** 億円

(前期比 +3.0% / +30.4%)

ROE・ROA

**8.3** % / **7.6** %

(前期比 ▲3.9pt / ▲3.7pt)

1株当たり配当金 (25/3期予想)

7期連続増配

**70** 円 (+10円)

**貴金属リサイクル機能を有する  
北九州工場が稼働開始**

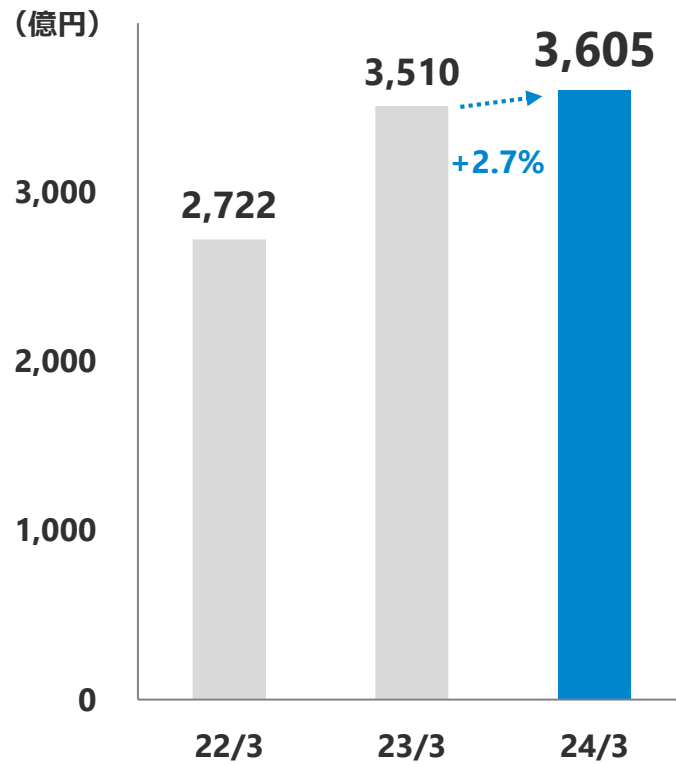
第1期稼働では、貴金属原料の  
ロジスティクス機能や一次処理からスタート

売上高は過去最高となったが、電子デバイス分野の生産低下などを受け、減益

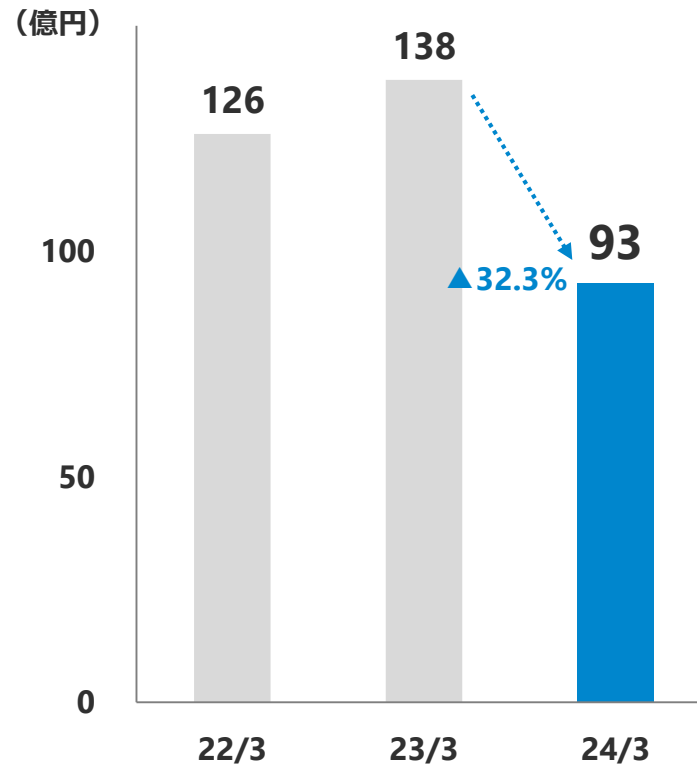
(億円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減	
売上高	3,510	<b>3,605</b>	+94	+2.7%
営業利益	138	<b>93</b>	▲44	▲32.3%
営業利益率	3.9%	<b>2.6%</b>	▲1.3pt	-
経常利益	138	<b>105</b>	▲32	▲23.8%
当期純利益	96	<b>72</b>	▲24	▲24.9%
1株当たり当期純利益 (円)	371.7	<b>280.2</b>	▲91.4	▲24.6%
ROE	12.2%	<b>8.3%</b>	▲3.9pt	-

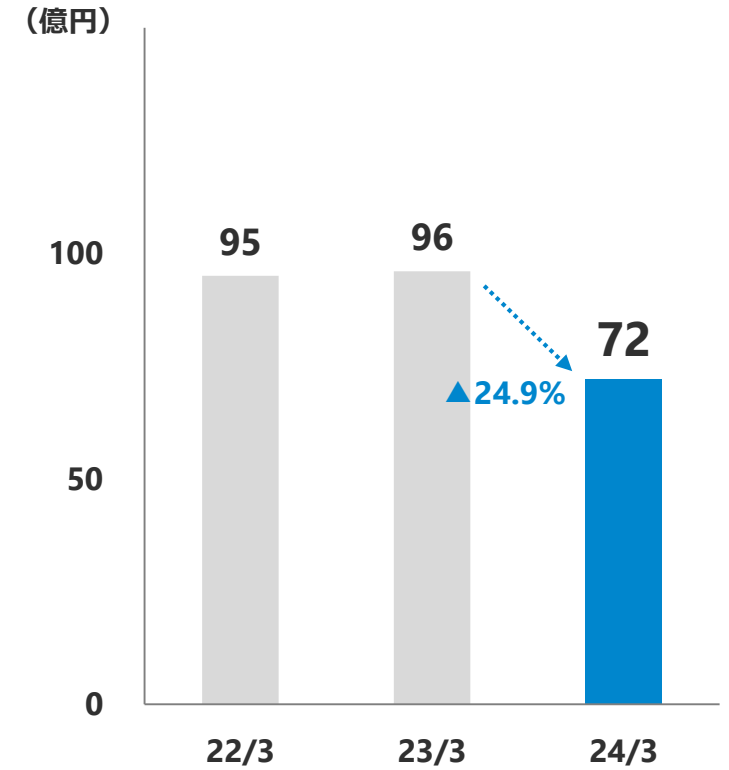
売上高



営業利益



当期純利益



# 連結貸借対照表

【資産の部】		(億円)		
	2023年3月末	2024年3月末	増減	増減要因
流動資産	893	1,023	+129	(+) 売上債権及び棚卸資産の増加
固定資産	398	466	+67	(+) 工場設備の新設(北九州、入間)
資産合計	1,292	1,489	+197	
【負債の部】				
	2023年3月末	2024年3月末	増減	増減要因
流動負債	278	445	+166	(+) 短期借入金の増加
固定負債	166	130	▲36	(-) 長期借入金の返済
うち有利子負債	192	294	+101	
負債合計	445	575	+130	
【純資産の部】				
	2023年3月末	2024年3月末	増減	増減要因
純資産合計	846	913	+67	(+) 利益剰余金の増加
負債純資産合計	1,292	1,489	+197	
自己資本比率	65.4%	61.2%		

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	2023年3月期	2024年3月期	増減	2024年3月期実績の概要
営業キャッシュ・フロー	106	18	▲88	税金等調整前当期純利益、減価償却費及び仕入債務の増加、売上債権及び棚卸資産の増加、法人税等の支払
投資キャッシュ・フロー	▲121	▲79	+42	工場設備の新設（北九州、入間）
フリー・キャッシュ・フロー	▲15	▲61	▲45	
財務キャッシュ・フロー	13	80	+67	短期借入金の増加、長期借入金の返済、配当金の支払及び自己株式の取得
現金及び現金同等物の増減	3	26	+23	
現金及び現金同等物の期末残高	117	144	+26	



## 2. 中期経営計画（2022-2025年度）の進捗状況



経営目標の達成に向けては、貴金属セグメントの量的拡大、利益率・資本効率の改善が課題

(億円)

	FY16-18 平均	FY19-21 平均	FY22 実績	FY23 実績	FY24 予想	FY25 目標
売上高	1,871	2,382	3,510	<b>3,605</b>	3,800	3,000
営業利益	42	90	138	<b>93</b>	100	130
営業利益率	2.2%	3.7%	3.9%	<b>2.6%</b>	2.6%	4.3%
ROE	5.6%	10.0%	12.2%	<b>8.3%</b>	7.8%	9.0%
ROA (総資産経常利益率)	6.0%	9.4%	11.3%	<b>7.6%</b>	-	10.0%

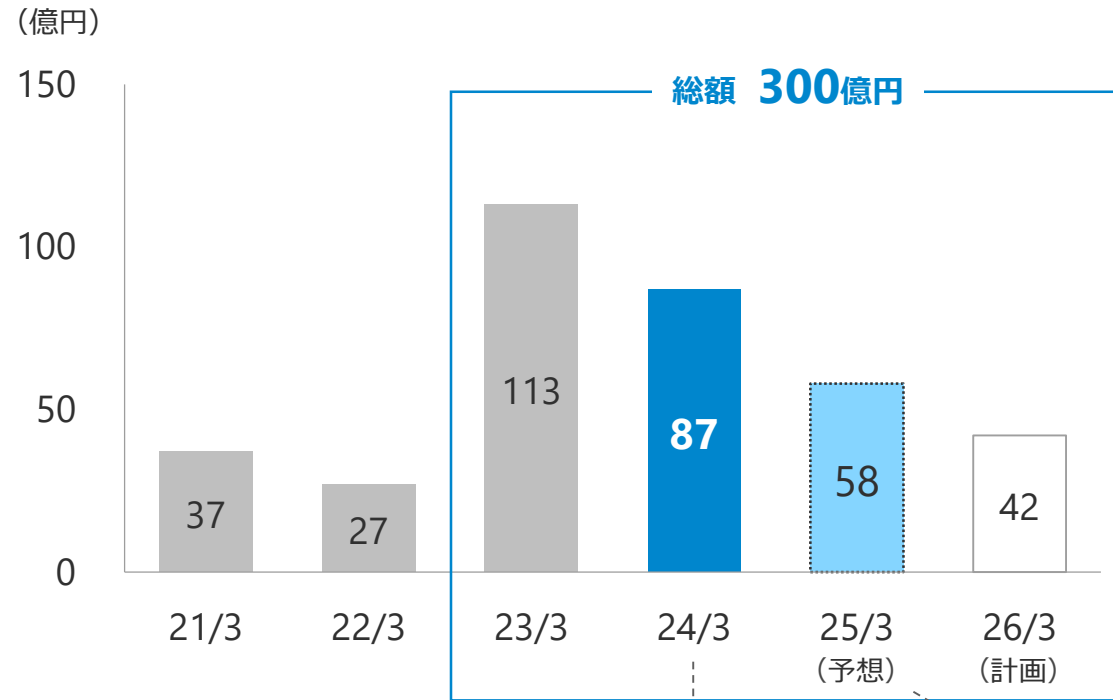
## 基本方針

貴金属関連事業 & 食品関連事業の両事業を成長の牽引役とし…

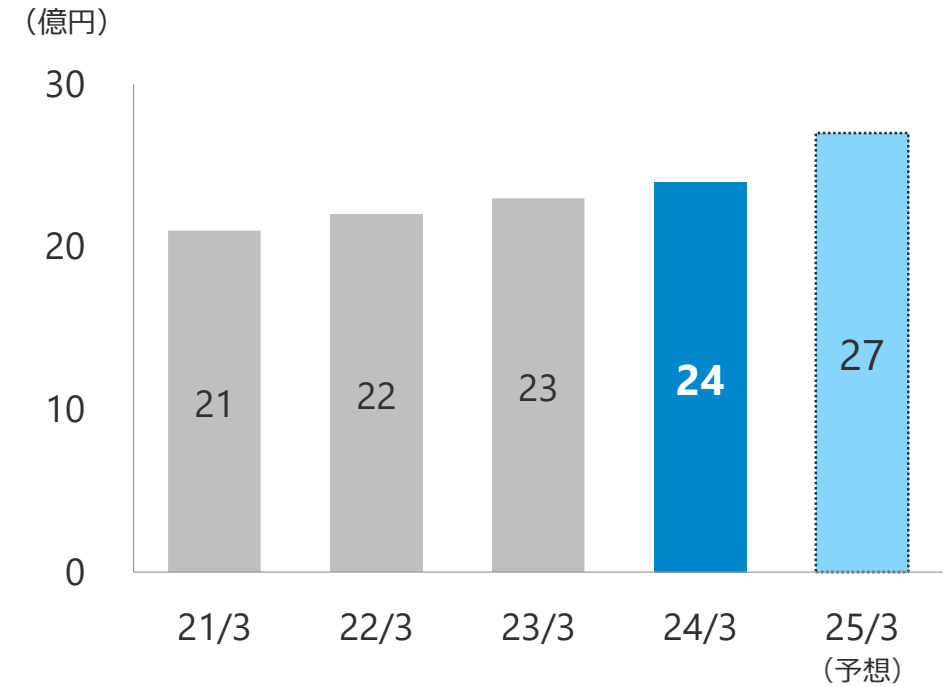
- 積極投資の継続で**収益基盤強化**と**新規収益源の創出**
- 持続的成長を支え、加速させる**経営基盤の強化**
- **ESG経営**の推進で**企業価値向上**

		2023年度（実績）	2024年度（予定）
<b>貴金属関連事業</b> 資源循環(活用)を創造する リーディングカンパニー	高付加価値商品／サービスの開発・技術構築	ECO PGC	
	新規事業展開に向けた製錬環境処理 設備/拠点の拡充	PTPマテリアルリサイクル	
	事業規模・領域拡大に向けた 生産インフラの拡充	北九州への進出	北九州工場第1期稼働 入間地区リニューアル
<b>食品関連事業</b> お客様の商品開発の ベストパートナー	グローバル展開と調達ネットワークの拡充	Matsuda Sangyo Trading India Pvt. Ltd.（インド拠点）の稼働	PT Matsuda Sangyo Trading Indonesia（インドネシア拠点）の展開
	顧客密着営業と新規事業/商圏の創出	静岡出張所の稼働	サプライチェーン機能構築・強化
<b>経営基盤強化</b>	IT活用による管理機能強化と生産性向上	ERP刷新 DX推進（デジタルの民主化）	
	人的資本経営の推進	経営人財の創出 多様な人財が活躍できる職場づくり	
	資本効率向上に向けた取組み	事業ポートフォリオマネジメントの強化	
	サステナビリティ経営の推進	脱炭素に向けた取組み 労働環境の整備（RBA）	

設備投資額の推移



減価償却費の推移



【24/3期 設備投資 (実績)】

- ・ 入間地区工場機能拡充 20億円
- ・ 北九州拠点展開 25億円
- ・ タイ現地法人工場拡充工事等 17億円
- ・ 製錬環境処理設備・拠点拡充等 15億円
- ・ IT投資 10億円

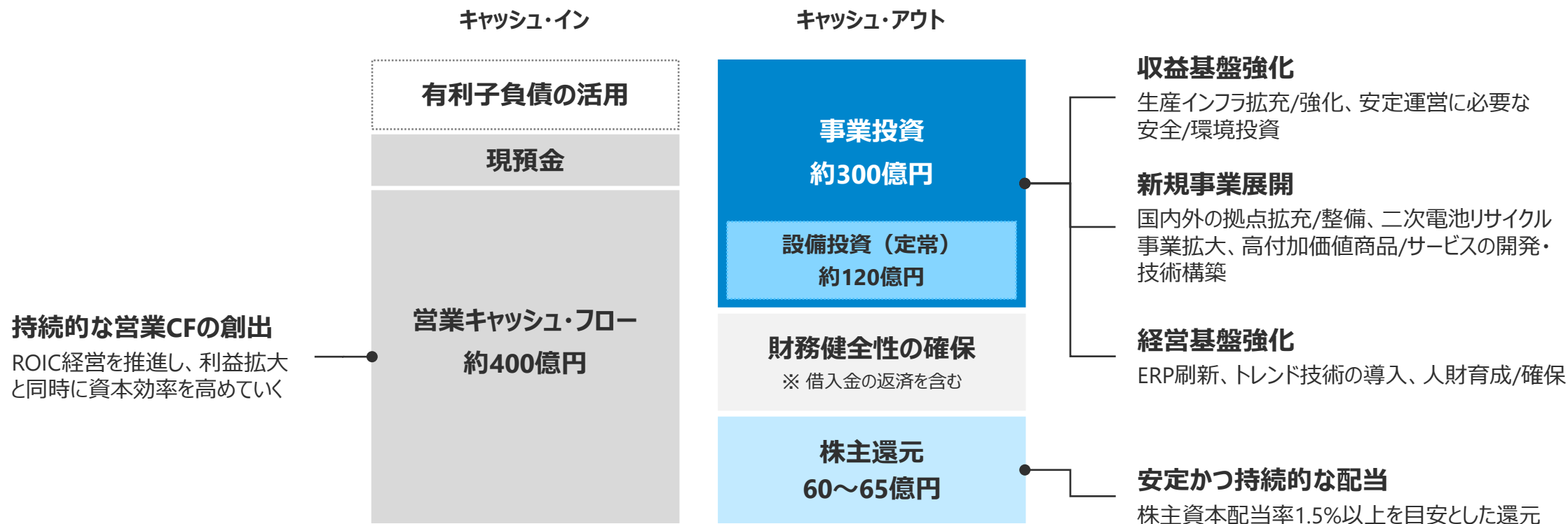
【25/3期 設備投資 (予想)】

- ・ 入間地区工場機能拡充 29億円
- ・ 製錬環境処理設備・拠点拡充等 23億円
- ・ IT投資 6億円

資本政策

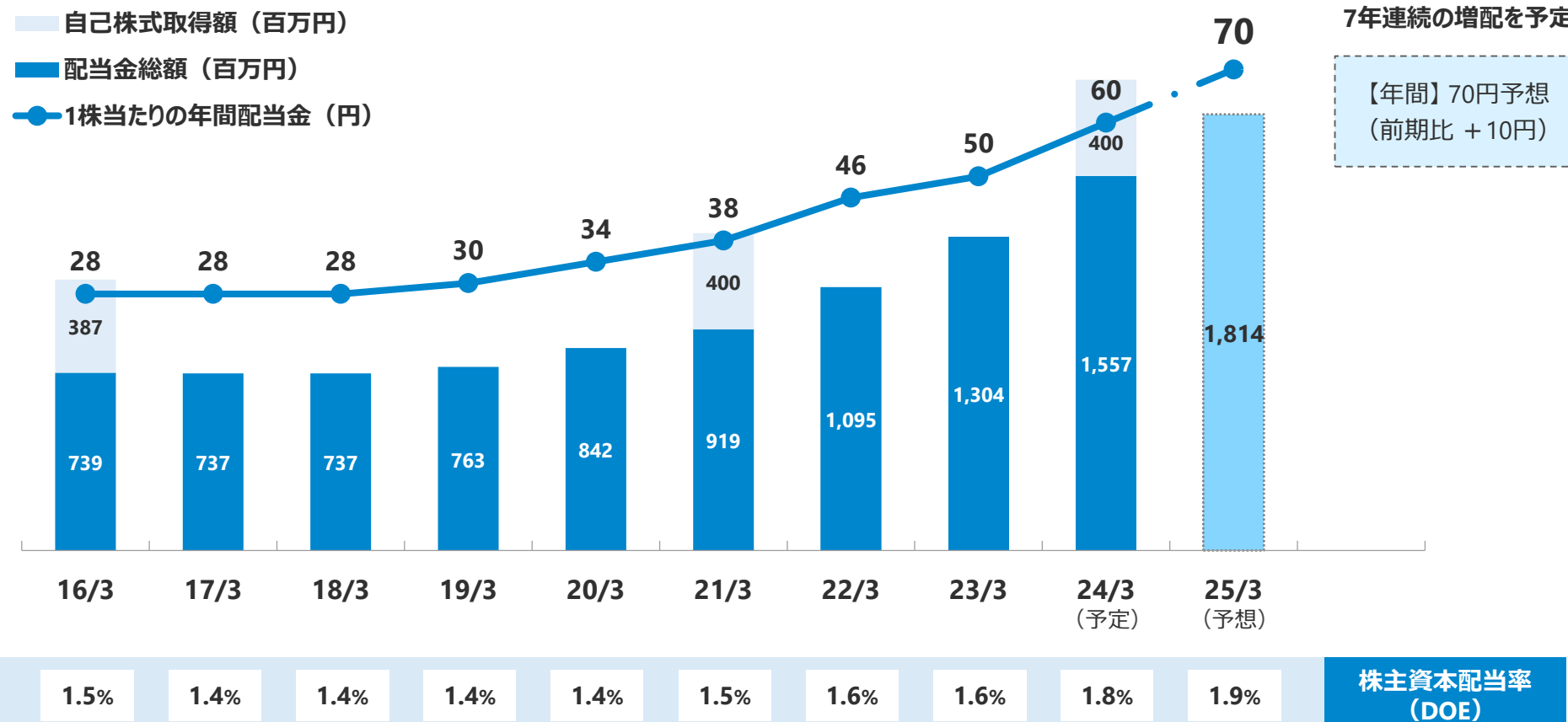
- 成長性を捉えた事業機会への最適資源配分、財務健全性の確保、株主還元のバランスを考慮し、持続的に企業価値を向上させる

＜中期経営計画（2022～2025年度累計）に基づく、キャッシュ・アロケーションの想定＞



## 株主還元

- 成長投資の為の内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定且つ持続的な配当を実施
- 株主資本配当率1.5%以上を目安とした還元
- 市場環境を勘案した機動的な自己株式取得



当社グループの存在意義を果たしていくため特定したマテリアリティへの取組みを2023年度も推進

マテリアリティ (重要課題)

2023年度取組み実績

環境

環境負荷低減と事業成長の両立

- ① エネルギー消費及び温室効果ガスの排出
- ② 大気への排出 ③ 有害物質 ④ 固形廃棄物
- ⑤ 汚染防止と資源削減 ⑥ 水の管理
- ⑦ 生物多様性

- GHG排出量に関する第三者保証の取得
- GHG削減施策の推進
  - ① 生産部門の100%再生可能エネルギーの購入開始
  - ② 設備の電化の検討
- インターナルカーボンプライシング制度の導入
- 国際イニシアチブへの取組み推進
  - ① CDPスコアでB評価 ② SBT認定取得

社会

多様な人材活躍による成長加速

- ① 適材適所 ② ダイバーシティ&イノベーション
- ③ ワークライフバランス

お客様満足の上昇と社会の信用確保

- ① 製品/サービスの正確な情報の提供
- ② 商品の安心・安全の確保
- ③ サプライヤーとのパートナーシップ

- 女性活躍推進プログラムの実行
- 年代別キャリア開発支援の継続的な実行
- RBA遵守体制整備
- ISOマネジメントプログラムの実施
- サプライヤーエンゲージメント実施準備



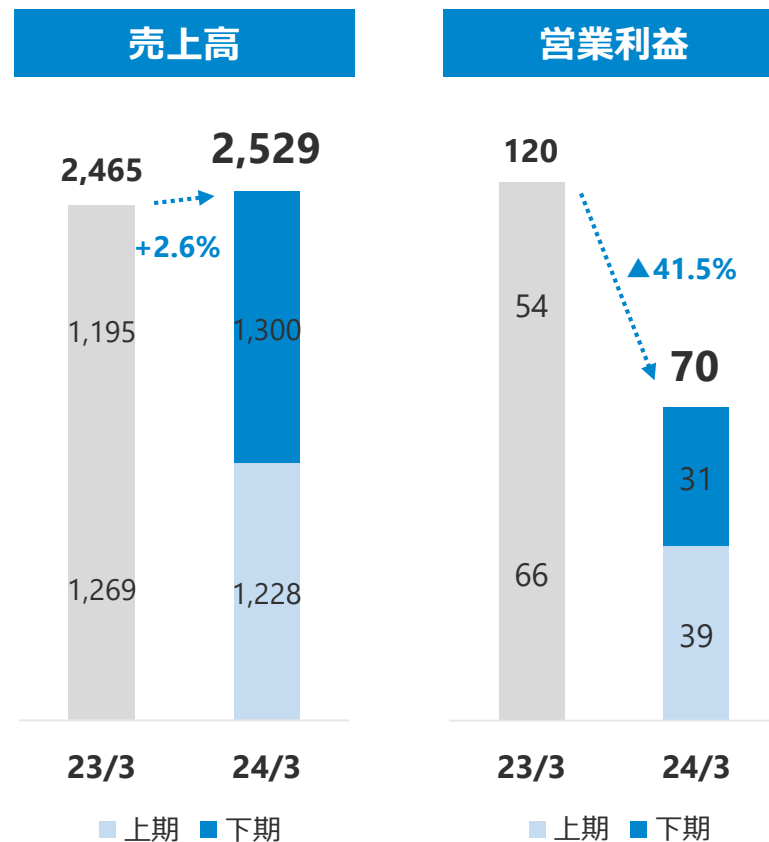
### 3. セグメント別の業績と次期見通し



## セグメント別の業績（貴金属関連事業）

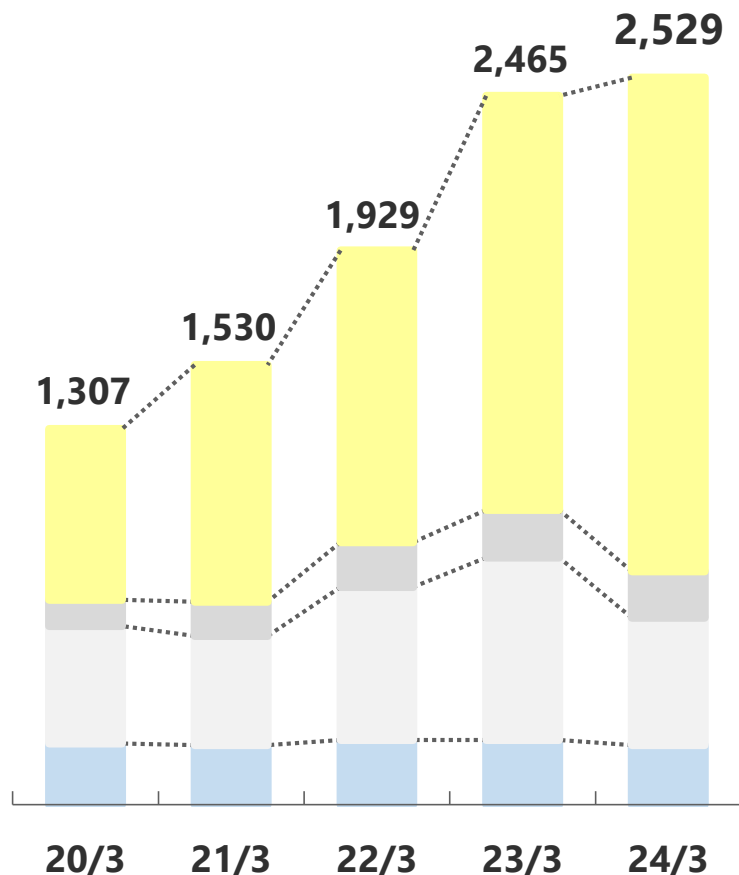
宝飾分野からの貴金属リサイクル取扱量増加や金相場が堅調に推移し、売上高は増加  
電子デバイス分野からの貴金属リサイクル取扱量減少の影響を受け、営業利益は減少

	2023年3月期	2024年3月期	増減	
				(億円)
売上高	2,465	<b>2,529</b>	+63	+2.6%
営業利益	120	<b>70</b>	▲50	▲41.5%
営業利益率	4.9%	<b>2.8%</b>	▲2.1pt	-



## 品目別売上高の推移（貴金属関連事業）

銀製品、白金族製品等の販売量は減少したものの、金価格上昇の影響も受け、  
全体の売上高は前期比+63億円

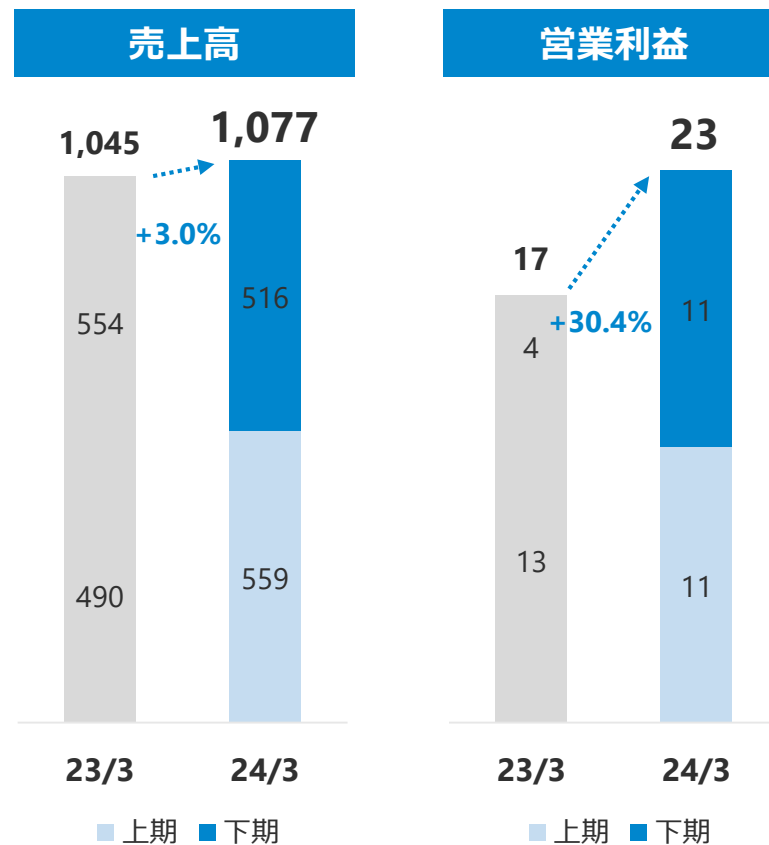


(億円)				
	24/3期	増減		増減要因
金	1,717	+277	+19.2%	数量要因+0.0%、価格要因+19.2%
銀	161	▲4	▲2.6%	数量要因▲17.7%、価格要因+15.2%
白金族	443	▲191	▲30.2%	数量要因▲12.9%、価格要因▲17.3%
その他	207	▲18	▲8.1%	産業廃棄物処理▲8.0% 電子材料等商品など減少

## セグメント別の業績（食品関連事業）

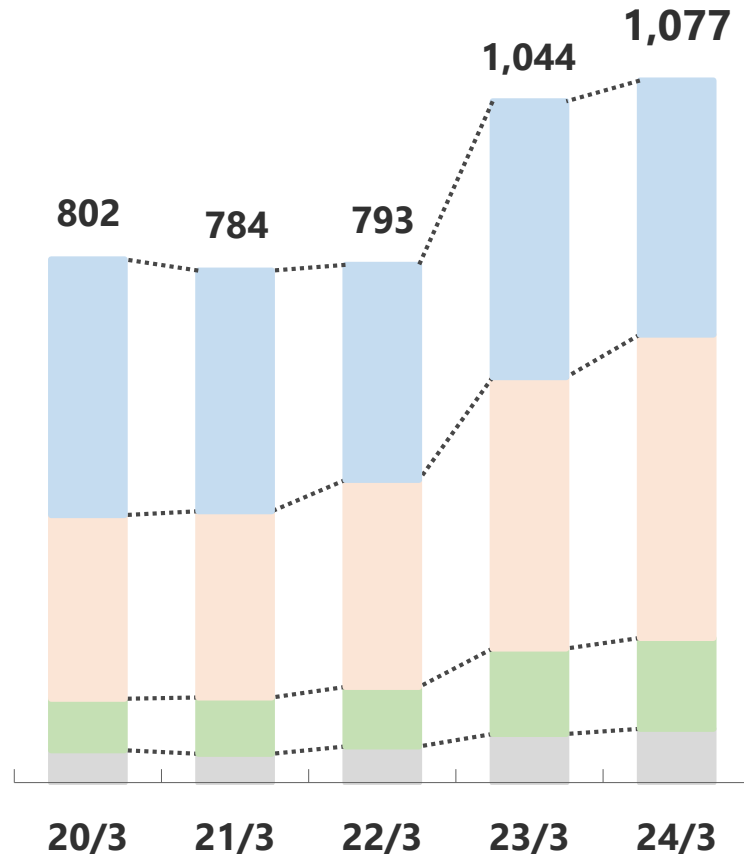
原材料価格や運送・保管料が上昇した中で、着実に価格転嫁を進め、販売量の拡大も図り、増収増益

	2023年3月期	2024年3月期	増減	
				(億円)
売上高	1,045	<b>1,077</b>	31	+3.0%
営業利益	17	<b>23</b>	5	+30.4%
営業利益率	1.7%	<b>2.1%</b>	+0.5pt	-



## 品目別売上高の推移（食品関連事業）

水産品の販売量は減少したものの、畜産品、農産品の販売量は増加し、  
販売価格も上昇したことから、全体の売上高は前期比+31億円

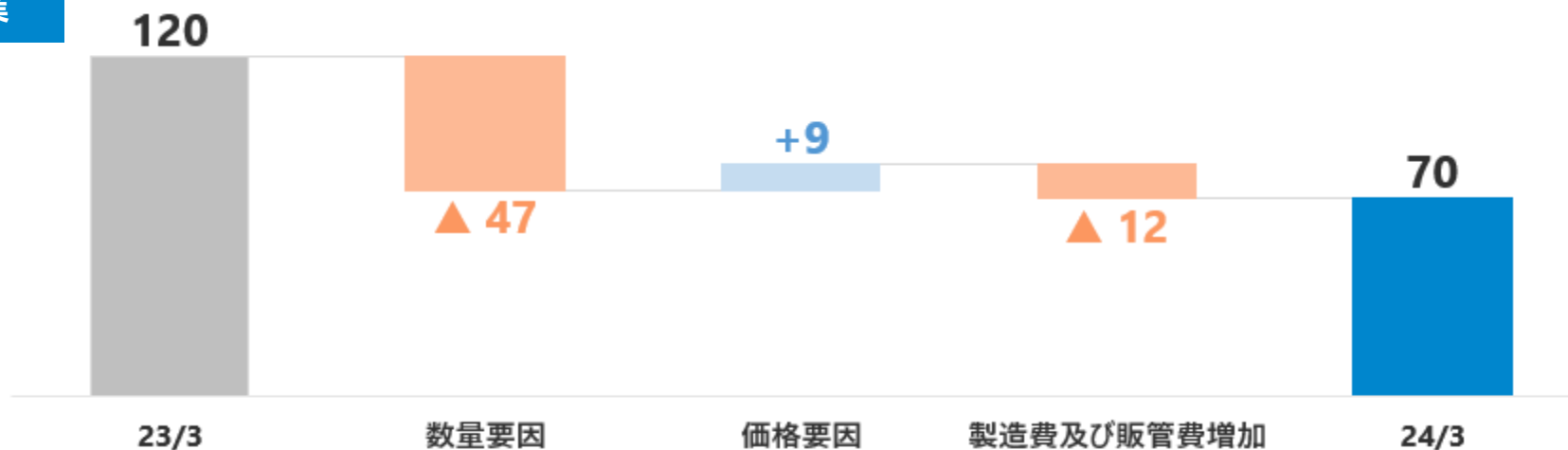


	(億円)			増減要因
	24/3期	増減	増減	
水産品	389	▲31	▲7.5%	数量要因▲6.4%、価格要因▲1.1%
畜産品	464	+49	+11.8%	数量要因+3.1%、価格要因+8.7%
農産品	139	+16	+13.4%	数量要因+3.3%、価格要因+10.1%
その他	82	▲2	▲2.9%	数量要因▲1.9%、価格要因▲0.9%

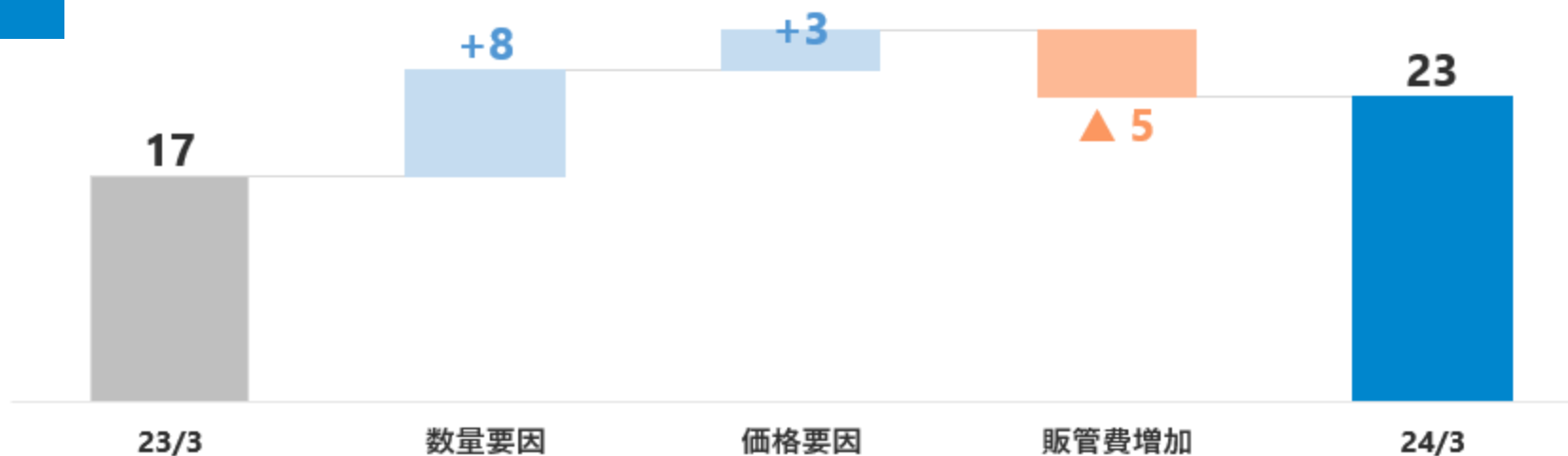
# 営業利益の増減

## 貴金属関連事業

(億円)



## 食品関連事業



25/3期は、電子デバイス分野の需要回復に伴う生産状況の改善を背景に、増収増益を予想

(億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減	
売上高	3,605	<b>3,800</b>	+194	+5.4%
営業利益	93	<b>100</b>	+6	+6.9%
営業利益率	2.6%	<b>2.6%</b>	+0	-
経常利益	105	<b>110</b>	+4	+4.3%
当期純利益	72	<b>76</b>	+3	+4.3%
1株当たり当期純利益 (円)	280.2	<b>293.2</b>	+13.0	+4.6%
ROE	8.3%	<b>7.8%</b>	▲0.5pt	-

貴金属関連事業は、電子デバイス分野の生産状況の改善を背景に、取扱数量の増加による増収増益を予想  
 食品関連事業は、販売数量増加による増収も、販管費の増加等により、営業利益は凡そ横這いを予想

(億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減		
売上高	貴金属関連事業	2,529	2,680	+150	+6.0%
	食品関連事業	1,076	1,120	+43	4.1%
	合計	3,605	3,800	+194	+5.4%
営業利益	貴金属関連事業	70	77	+6	+9.3%
	食品関連事業	23	23	▲0	▲0.6%
	合計	93	100	+6	+6.9%



	貴金属関連事業	食品関連事業
<b>25年3月期 業績予想</b>	売上高 2,680億円（前期比 +150億円） 営業利益 77億円（前期比 +6億円）	売上高 1,120億円（前期比 +43億円） 営業利益 23億円（前期比 ▲0億円）
<b>外部環境と数量</b>	電子デバイス分野の生産状況は、半導体・電子部品の需要改善に伴って下期から回復する見立て  ➡ 貴金属リサイクル取扱量、製商品販売数量の増加	個人消費の停滞感から、食品需要の拡大は期待できず、顧客ニーズの多様化はさらに進む  ➡ 水産品、農産品を中心に販売数量は増加
<b>販売価格</b>	貴金属相場：24年3月期の平均並みに想定	24年3月期の平均価格程度を想定
<b>設備投資に伴う償却費 IT投資</b>	生産インフラの拡充と強化、ERP刷新、DXの推進とトレンド技術（RPA、BI etc.）の導入、情報セキュリティ対策	
<b>サステナビリティ経営の推進</b>	脱炭素に向けた取り組み、国際イニシアチブ（CDP、TCFD、TNFD etc.）への対応、労働環境の整備、人的資本経営の推進	

# Appendix

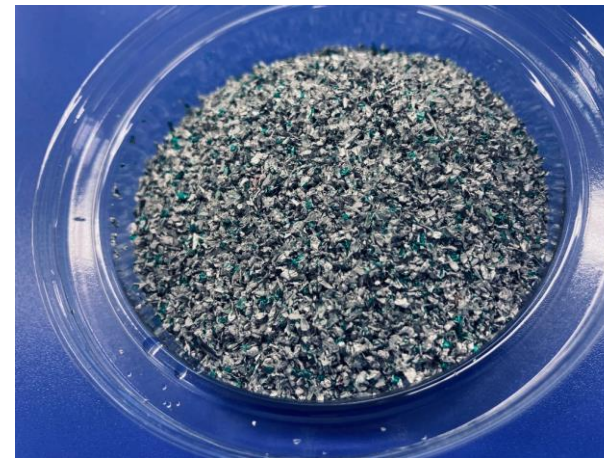




製薬業界等の脱炭素化への貢献に向けて、新たなリサイクルスキームを構築

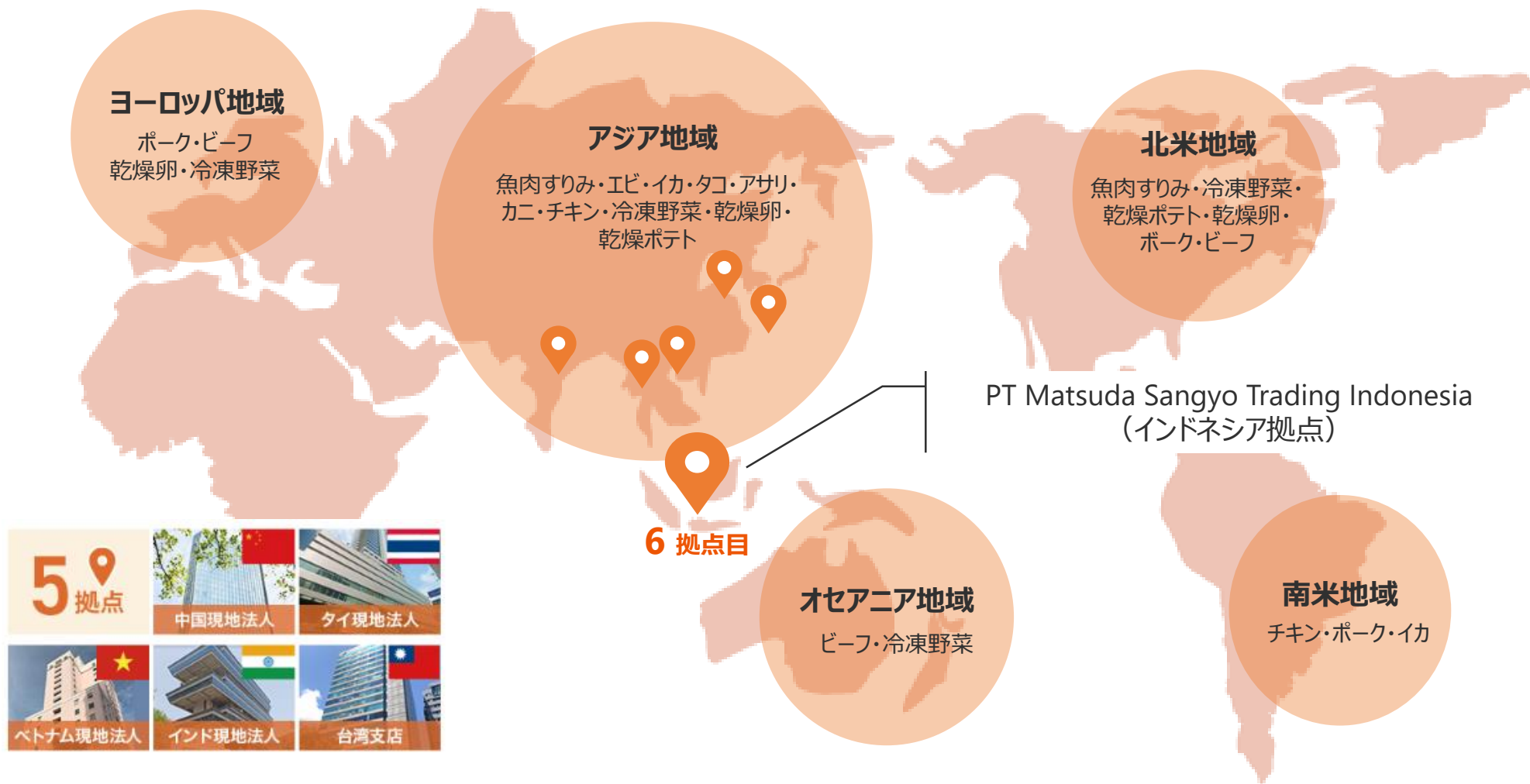


分離後物の樹脂



分離後物のアルミ

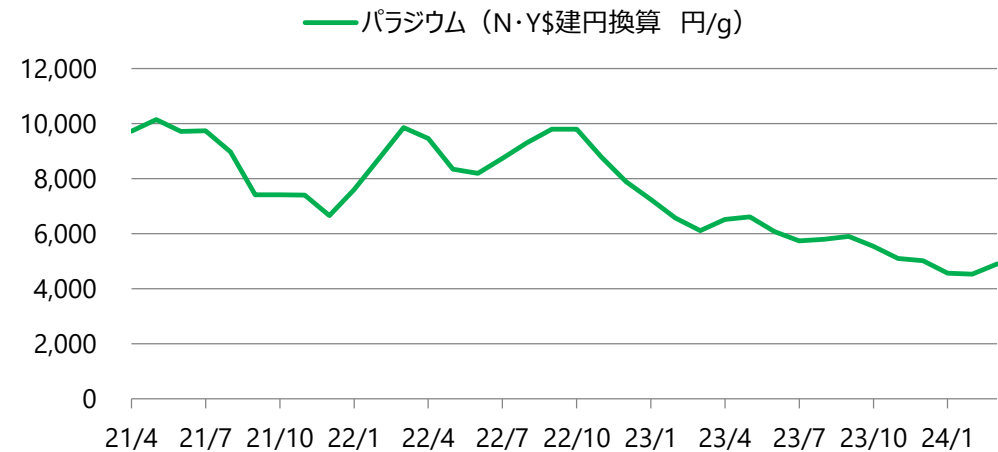
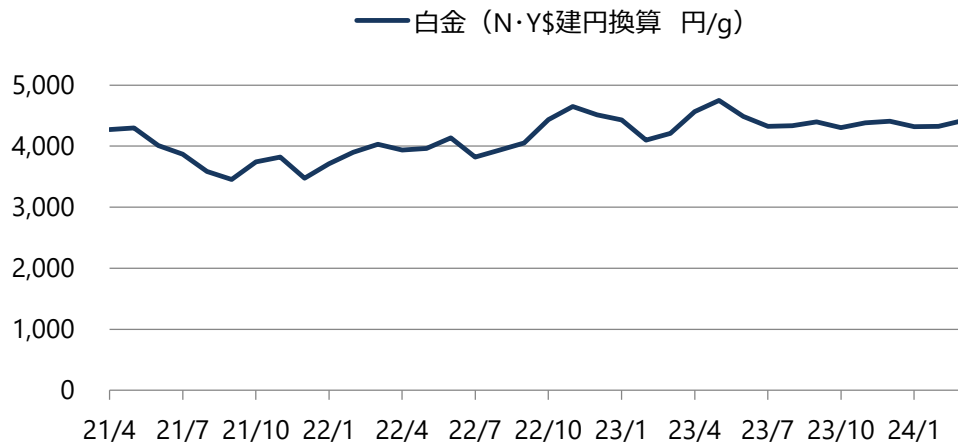
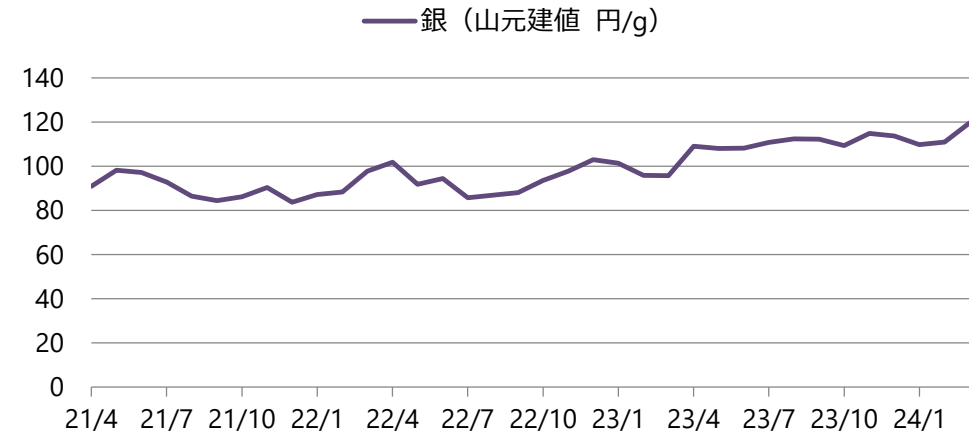
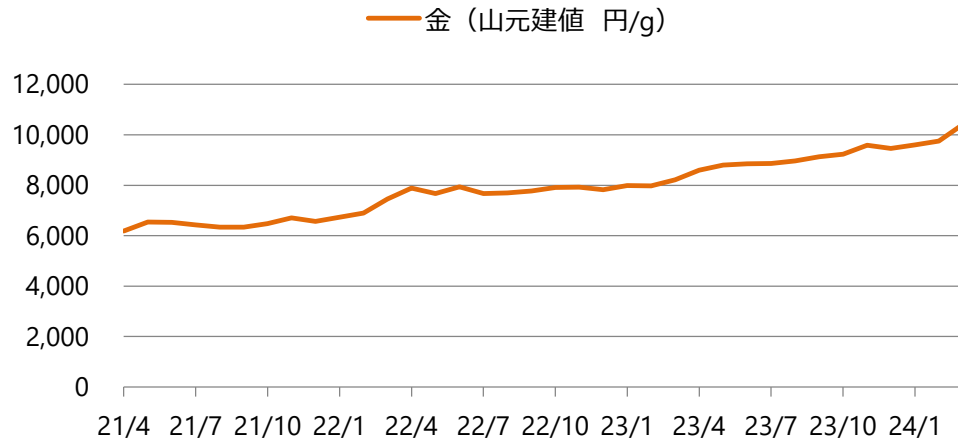
## グローバルなネットワークにより変化する業界のニーズに対応した食材を調達



(億円)

	2024年3月期 実績			2025年3月期 予想			増減				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		
売上高	貴金属関連事業	1,228	1,300	2,529	<b>1,320</b>	<b>1,360</b>	<b>2,680</b>	+91	+7.5%	+59	+4.5%
	食品関連事業	559	516	1,076	<b>540</b>	<b>580</b>	<b>1,120</b>	▲19	▲3.5%	+63	+12.3%
	合計	1,787	1,817	3,605	<b>1,860</b>	<b>1,940</b>	<b>3,800</b>	+72	+4.0%	+122	+6.7%
営業利益	貴金属関連事業	39	31	70	<b>34</b>	<b>43</b>	<b>77</b>	▲5	▲13.4%	+11	+37.9%
	食品関連事業	11	11	23	<b>11</b>	<b>12</b>	<b>23</b>	▲0	▲5.0%	+0	+3.9%
	合計	50	42	93	<b>45</b>	<b>55</b>	<b>100</b>	▲5	▲11.5%	+12	+28.7%

2025年3月期は、金 9,100円/g、銀 109円/gを想定





**松田産業株式会社**

MATSUDA SANGYO CO., LTD.